

## 夕張市財政再生計画の変更 (平成24年11月)の概要

- 本年9月19日に夕張市の財政再生計画の変更に同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、財政再生計画に計上した平成24年度分の歳入・歳出額を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保及び歳出の抑制により対応することとしており、財政再生計画の主要部分である計画期間、財政再生の基本方針並びに財政の再生に必要な計画及び歳入又は歳出の増減額については変更はない。
- 財政再生計画の変更への同意は、今回で10回目である。

### 財政再生計画の歳入・歳出額の変更における主な内容

#### 1 主な変更事項

##### (1) 障害者自立支援事業 (+95百万円)

障害者自立支援法の改正に伴い、本年4月から市が実施することとなった障害福祉サービスについて、年度当初の予測よりも障害福祉サービス費の増加が見込まれることから、所要の経費を計上するもの。

(財源) 国支出金48百万円、道支出金24百万円、一般財源24百万円

##### (2) 市内老朽化施設の除却 (+32百万円)

市内の老朽化した市有施設・市営住宅について、防犯や積雪による被害の防止のため、除却を実施するもの。

(財源) 国支出金21百万円、地方債7百万円、一般財源4百万円

##### (3) 財政調整基金等への積立金 (+529百万円)

平成23年度決算剰余金による繰越金(588百万円)により生じた一般財源の一部について、過疎対策事業債(ソフト分)に係る後年度の所要経費の財源を確保するため、財政再生計画調整基金への積立て(6百万円)を行うとともに、残額について財政調整基金に積立て(523百万円)を行うもの。

(財源) 一般財源529百万円

※ 変更が必要となる一般財源については、平成23年度決算剰余金の一部等により対応するため、財政再生計画の主要部分である計画期間等への影響はない。

## 2 性質別歳入・歳出の増減

### (1) 歳入

国・道支出金の増（＋90百万円）、繰入金の増（＋1百万円）、地方債の減（▲10百万円）、繰越金（＋588百万円）、その他（＋6百万円）により674百万円の増

### (2) 歳出

人件費の増（＋4百万円）、物件費の増（＋10百万円）、維持補修費の増（＋1百万円）、扶助費の増（＋95百万円）、繰出金の増（＋25百万円）、積立金の増（＋535百万円）、その他（＋4百万円）により674百万円の増